

令和2年度のメキシコ合衆国における NPO 活動状況

1 活動期間

令和2年4月1日から4月12日まで(コロナ感染拡大により以降中止)

2 主な活動地域

ゲレロ州アカプルコ市内

3 活動内容

4月12日アカプルコ市内 Cuauhtémoc 地区の小学校において児童28人と親7人、協力者2人、警察官5人によって交通安全ドリルが行われましたが今年度は写真の活動が最初で最後となってしまいました。

令和2年度は、中国で発生したコロナウイルスがあれよ、あれよという間に全世界に拡散し時間差はあるもののメキシコにおいても欧州同様、医療逼迫により多くの人命が失われました。拡散防止のため国家間の移動制限により年度を通じ日本からの入国ができなくなり、当法人から要員の派遣が困難となりました。

当 NPO 法人の職員の派遣が不可能な状況となる中でアカプルコ市では現地の協力者達が感染防止のため知恵を出し合い試行錯誤しながら交通安全思想の普及に努めました。一度に多くの子供達を一か所に集めることを極力避け少人数で木陰の風通しの良い場所で行うことにより子供たちの負担軽減を図りながら交通安全教育の目的達成に努力しました。現地では日中の温度が40度前後になることからマスクを付けたままではとても活動できませんので木陰の風通しの良い場所で写真のように行いました。この場に参加できないのがとても残念ですが令和3年度末か令和4年度には現地の協力者の皆さんと活動できることを願って止みません。写真は令和2年の4月12日に行われた交通安全ドリルの様子です。日本で考えるよりも密の状態ですが、子供たちも私語を交わす訳でもなく協力者の指示通りの動きをしていますので大丈夫のようでした。勿論使用する三輪車などの道具は事前に消毒を済ませたものを使い、子供たちの手なども消毒してからドリルに入るなど感染予防を第一に考えて行いました。



木陰の多い学校の敷地を借りての交通安全教室。三輪車に乗っている子供は運転手役、ほかの子供は歩行者役でそれぞれの立場を理解してもらうために行っています。

これはメキシコ独特のやり方で日本とは少し違います。上の活動はまだコロナが深刻

な状態になる前の 2020 年 4 月時点でマスク着用の義務化の前のものです。